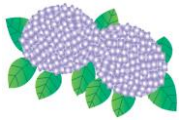


デイホーム通信



各地区のデイホーム
を紹介しています！



(本郷地区社会福祉協議会)



『スコップ三味線で不景気を吹っ飛ばそう』
本郷地区が『スコップ三味線の里』となったのをご存知ですか？

スコップ三味線とは、雪かき用の鉄製スコップを三味線に見立て音楽に合わせ柱抜きやへうで叩いて演奏するものです。テレビや新聞で見かけたことがある方も多いと思いますが本郷地区には「七瀬すこっばーず」と言うスコップ三味線の愛好会があります。

地区社協の松並会長が中心となって、賑やかな音楽を届けてくれます。

今回のお出掛けデイホームでは、不景気を吹き飛ばすような威勢のいい音や楽しい踊り、マジックなどで80名の参加者も大いに盛り上がりました。

この地区に住む75歳以上の約半数の方がデイホームに参加してくださるのも、毎回デイホームに来てくださる地区社協の会長や芸達者な地域の方のお陰と感謝しています。

次回は、参加者が何かを披露できないかと考えている所です。

本郷地区 専任職員 上田 順子

(足羽地区社会福祉協議会)



足羽地区デイホーム作品展(古代文字で色紙を作る)

足羽地区では足羽郵便局において、2年に1度デイホーム参加者が作った作品展展示会を開催しています。

今年は第4回目で、4月12日～5月14日まで開催しました。

今年は、故白川静先生の生誕100年に当たり、色紙にクレヨンや絵具で「古代文字」をアレンジして自由に描き、カラフルな作品に仕上げました。

今回の展示会は『古代文字の色紙』を中心に、過去2年間に作った『樹脂粘土の雪だるま』『千支の千切り絵』『和紙の着物を着せた雛人形』等の作品とともに156点を展示しました。

テレビ、ラジオ、新聞でも報道され、毎回たくさんの方が見に来て下さり「素晴らしい」「綺麗だね」と言ってお下さいます。

また、作品展を見てデイホームへ参加されるようになった方もおられ嬉しい限りです。

郵便局長さん、民生委員さん他、たくさんの方々のご協力のお陰で開催できましたことを感謝いたしております。

足羽地区 専任職員 荒木 陽子